

第12回上林暁忌短歌大会 全国からの応募作品93首

7月24日、上林暁顕彰会、上林暁文学館、大方短歌会主催の短歌大会が行われ、約60人が参加。

産経新聞などの歌選者も務める

歌人の小島ゆかり先生が「歌を樂しむ」と題して講演。その後、幡多郡を中心に寄せられた93首の中から特選3首、植田馨賞1首、秀作5首を選び、表彰しました。秀作以上は左記のとおり。

◆入賞作品(選者・小島ゆかり先生)

【特選】

梅雨雲の広がるけふの一人旅(世界は一冊の本)をポケットに入れて 高知市 入交 芳子

考えても考えても子よ変わらぬぞほっとけほっとけほととぎす鳴く 黒潮町 藤近 容子

草の穂は草の穂としてそよぎをり 国民のためといふことば嘘 黒潮町 小橋美沙世

【植田馨賞】

死ぬことを忘れちゃったと囁いて媼百歳ふふふと笑う 香南市 竹村 廣子

【秀作】

おばあちゃん助けてと言ふ乾燥機まああんだかね丸まりてあき 香美市 町 耿子

うぶすなの森の落葉のかさこそと命のうごくく赤手蟹うごく 土佐清水市 福富奈加子

シャガールの空飛ぶ男と女にはとぼほどの理きつとあるべし 高知市 柿内 光彦

白き指きゆきゆつと鳴らし渚ゆく青春の日のまばゆき中を 南国市 前川 竜女

七色に変はる車軸の観覧車月を従へ夕日見送る 香美市 古川 安子



第9回黒潮町小学生俳句大会

7月29日大方あかつき館にて、うたの道づくりの会による、小学校俳句大会の表彰式が行われました。本大会は平成21年から始まり、今回が最後となります。初夏をテーマとした作品を町内の上川口小学校、田ノ口小学校、佐賀小学校で募集し、65人の児童から149句の俳句が集まりました。表彰式に来た子どもたちは、会長の宮川昭男さんから、一人ひとり俳句の評価やアドバイスを受けた後、表彰式を行いました。

宮川会長は「この大会は黒潮町の子どもの感性が豊かに育つてほしいという願いから始まった。9回続けたことで、たくさんの方のすばらしい句を聞くことができて良かった」と話していました。



参加者は、友だちや他の学校の人の俳句を興味津々に聞いていました。

災害時は船で救援物資を輸送 海難救済会などが海上訓練

入野漁港で、7月28日、大規模災害時の救援物資輸送訓練と、海難救助訓練を開催。高知県、高知県水難救済会幡東救難所、大方遊漁船主会、黒潮町、四万十市、中村警察署、黒潮消防署、土佐清水海上保安署が参加しました。



沖に停泊した海上保安署の巡視船から、毛布や水などのダンボールを受け取る漁船。

救援物資輸送訓練では、南海トラフを震源とする巨大地震と津波により、県沿岸の交通経路が寸断された想定。沖合の巡視船から漁船に物資を積み込みました。

海難救助訓練では、ホエールウオッチング船が浮遊物に接触し、衝撃で乗客3人が海へ転落したと想定。別の漁船で漂流者を救助し、港から救急車で搬送しました。